

1 指導のねらい

- ・ 複数の資料を的確に読み取る(領域:「読むこと」)
- ・ 比較したり評価したりして読む(領域:「読むこと」)

2 学習活動の設定

「車の少ない安全な社会を」という文章と、「安全な車の開発を」という文章を読み、考え方の共通点と相違点をとらえる。そして、体験などをもとに、自分はどちらの考え方に近いかを判断して考えをまとめる。

3 指導の実際(2時間扱い/第5・6学年対象)

学習活動	指導上の留意点・評価(○印)
1 社会科の「自動車工業」の学習を思い出す。	・ 社会科の「自動車工業」の学習を、安全性、環境、デザイン、価格といった視点から思い出させる。
2 本時の学習のめあてを確認する。	・ 二つの文章を読んで考え方の共通点と相違点をとらえ、自分はどちらの考え方に近いかを考える学習であることを押さえる。 ○進んで学習活動に取り組もうとしている。(国語への関心・意欲・態度)
3 資料①「車の少ない安全な社会を」、資料②「安全な車の開発を」の文章を読み、筆者の考え(意見)をとらえる。(学習プリントA)	・ 資料を一つずつ提示し、段落ごとに要点を整理しながら文章の内容を正確に読み取らせる。筆者の考えを付箋に書くことによって取り出すことも効果的である。 ○資料の内容を正確に読み取っている。(読む能力)
4 資料AとBを比較して読み、考え方の共通点と相違点をとらえて表にまとめる。(学習プリントB)	・ 学習活動3で書いた付箋を使って、筆者の考えの共通点と相違点を整理させると効果的である。また、共通点と相違点に色別の線を引かせ、文章の中で区別して確認させることも効果的である。 ○複数の資料を比較して読み取っている。(読む能力)
5 自分の体験や資料の内容を根拠に、自分は資料AとBのどちらの意見に近いかを考え、自分の考えを理由とともに書く。(学習プリントC)	・ なぜそう思うかということを考えさせるようにする。机間指導を行い、考えがまとまらない児童には助言する。 ○体験や資料の内容を根拠に、自分の考えをもととしている。(国語への関心・意欲・態度)

4 ここがポイント

- ◇ 共通のことが書かれている部分と、違うことが書かれている部分に色別の線を引かせる。
- ◇ 文章を比較するときには、内容を対応させて考えさせるようにする。

比^{くら}べながら読み、自分の考えをまとめよう

資料① 【車の少ない安全な社会を】

先日、自転車に乗った男の子と自動車とが接しよくする事故を見かけました。男の子が細い道から飛び出してきたところに車を通りがかり、車の運転手は、自転車をよけられなかったようです。さいわい、男の子は、うでにかすりきずを受けただけです。日本では、毎年、八千人以上の人が交通事故でなくなっています。これらの事故をなくすることはできないのでしょうか。

まず、みんなが自家用車にできるだけ乗らないで、バスや電車などの公共交通機関を利用したらどうでしょうか。自家用車は、目的地まで楽に行くことができ、便利な乗り物です。しかし、多くの家庭が自家用車をもっているために、交通事故が増えたのではないのでしょうか。

もう一つ、車が通ることができる道と、歩行者しか通れない道とを区別したらよいと思います。車が通らなければ、幼い子や老年寄りの方も安心して歩くことができます。また、おにごっこやかくれんぼなど、ちよつとした遊びも道ばたでできるようになります。道のはしっこベンチで休むこともできます。

どちらもかん単にできることはありませんが、一人ひとりが努力をして、車の少ない、安全で住みよい町づくりをしていくことが大切ではないでしょうか。

資料② 【安全な車の開発を】

多くの家庭が車をもつ時代になりました。自家用車は、自宅から目的地まで、楽に行くことができる便利な乗り物です。また、自家用車は、一度にたくさん荷物を運ぶことができるので、買い物をしたときなどに使うと大変便利です。しかし、一步運転をあやまると、人をきずつけてしまう危険な機械でもあります。交通事故を少なくするには、運転者の「安全運転をしよう」という心構えとともに、より安全な車を開発することが大切だと考えます。

自動車会社では、安全で快適に乗ることができる車づくりに日々努力し、乗っている人の安全のためにじょうぶな車体にしたり、ぶつかったときのしよげきを和らげたりするための工夫をしています。エアバッグの設置もその一つです。

しかし、歩いている人の安全を考えた工夫は十分にできていないのではないのでしょうか。車が歩行者や自転車と接しよくすることをさけ、歩いている人の安全を守る装置の開発が必要だと思います。

これからも、自家用車が、各家庭でなくてはならないものであることは変わらないでしょう。今後、ますます車の台数が増えていくことも予想されます。交通事故をゼロにすることはできませんが、大きな被害が出ないように、安全な車の開発が必要だと考えます。

資料①と②を比べながら読み、筆者の考え方の共通点(同じところ)と相違点(違うところ)を表にまとめてみよう。

共通点 (同じところ)	相違点 (違うところ)
資料①【車の少ない安全な社会を】	
資料②【安全な車の開発を】	

漫画^{まんが}を読むことについて、「よい」「よい」という意見と「よくない」という意見に分かれました。次の資料 と の意見文を読んで、後の問いに答えましょう。

資料

本屋には、たくさんの漫画^{まんが}の本がならんでいます。読みたいと思うものがたくさんあるのではないのでしょうか。

これから心を豊かにし、多くの知識を必要とするみなさんにとって、物語や伝記などの本を読むことは大切なことです。ところが、漫画を読むことで、そのようなすぐれた本を読む時間がへってしまいます。また、漫画には文字がほとんどないため、文章を読みながらじっくりと考えることができません。

以上のことから、みなさんには、漫画をあまり読まず、心を豊かにしたり多くの知識を身につけたりすることのできる、漫画以外の本を選んで読むことをおすすめしたいと思います。

資料

漫画を読んでいるとき、家族や先生から、「漫画ばかり読んでいないで、物語や伝記などの本を読みなさい。」と言われたことはありませんか。漫画を読むことは本当によくないことなのでしょう。

漫画には、すばらしい絵をとおして、物語の内容を分かりやすく伝えるよさがあります。絵からは人物の行動や思いが生き生きと伝わってきます。また、たいくつなときや、ちょっとした待ち時間に、漫画を読んで過ごすのは楽しいものです。他にも漫画の魅力^{みち}がたくさんあります。

よい漫画を見つけてたくさん読み、楽しいひとときを過ご^{すご}したいものです。

